

令和5年3月6日

「パレット循環スキームによる物流効率化調査報告書」

最終報告書取りまとめ

当連合会の経営効率化委員会のもとに令和3年6月に設置された物流標準化調査小委員会(座長:東京女子大学 二村真理子教授)にて、パレットの標準化に関する調査検討を実施してきた。令和5年12月22日に開催された最終回となる第8回の会合では今まで当小委員会にて行ってきたアンケート調査や討議の取りまとめと総括が行われた。今般、これらの調査検討の結果を報告書に取りまとめましたので公表する。

本書を各企業で活用してもらおうべく、小委員会参加企業・協力企業で共有する以外にも広く販売(※)することにした。

パレット循環スキームによる物流効率化調査

報告書

令和5年2月

一般社団法人 日本物流団体連合会

目次

はじめに

I. 調査の概要

1. 調査の目的
2. 調査の実施体制
3. 調査内容
4. 小委員会の活動経過

II. アンケート調査結果

1. 回答者の施設の属性
2. 物流施設に出入りする車両サイズ
3. 入出庫時の荷姿
4. 入出庫時に別パレットに積替される理由
5. 入出庫時にパレットからバラして取り扱いされ理由
6. パレット積替えやバラ取扱いを削減するための方策
7. 使用されているパレットのサイズ
8. 保管、出庫時におけるパレット所有者
9. パレットサイズの規格統一化・標準化に関する要望
10. 物流施設における代表的な取扱い品目

III. ヒアリング調査結果

1. 空パレットの回収、取扱いについて
2. 手荷役について
3. パレット単位での取り扱い
4. 業界単位での対応の検討
5. 共同運用のための管理組織

IV. 一貫パレチゼーションを推進するための検討課題

V. パレット循環による効果検証

1. 検証の概要・目的
2. 検証結果（まとめ）
3. 営業用トラックの貨物輸送トン数の推計
4. 2024年問題による大型車・トレーラーの輸送能力（トン数）の減少分の試算
5. ドライバー不足による輸送能力（トン数）の減少（試算）
6. パレット標準化による効果の試算

VI. パレット循環スキーム素案

1. パレット循環スキームの策定の考え方
2. パレット循環スキームの概要

VII. パレット循環スキーム普及に関する主要課題

